

あごら

MINI (41号)
1980年7月10日発行 ¥100 丁25

〈女と男〉のミニ雑誌〈あごらミニ〉●何でも言える

●何でも書ける●小さな〈ひろば〉=AGORA・〈あごら〉

●あなたの声を待ってます。みんなであつくる〈あごら〉

中学校の「技術・家庭」という教科を私自身が学んだのは、もうずいぶん前のことになる。その時は深く考えずに、教えられることを聞いているだけだった。

ところが、今度は自分が中学校の教員になって、学校の事情で免許外教科として、「技術・家庭女子向き」「男子向き」とはほとんど違うので、学校では家庭科と言っている（を受け持つことになった）。

生徒にとって、小学校までに出席簿などで男女が分けられることはあっただろうが、教室や学習内容が男女別々な教科は中学校になって初めてだろう。高校での女子のみ家庭科必修がよく問題にされるが、義務教育の中学校でも考えさせられる点が多かった。それは男子向きとの内容の違いである。女子向きは被服・調理・保育が全体の三分の二を占め、残りの三分の一も住まいの設計や、家庭電気などでまさに「家庭科」である。それに対して男子向きは、木材加工・金属加工・電気・機械・栽培などで、女子向きとは全然違うのである。

生徒の方は、かつての私と同様に、スカートやエプロンを作るのが楽しそうだし、中学校から男女が違うものを学ぶことに何の疑問

今月のなかみ

〈編集担当・あごら九州〉

表紙のことは 技術・家庭女子向き 〔女たちの映画祭・女ならやってみな！〕 自主上映を終えて……むらいしともこ……1	池田 保子・後小路 久 小島サカエ・小島 豊子 福田 光子 〈あごら九州〉有志……2
座談会 映画を見たあとで……	……
呼びかけ 専任保育者を……	……
去年の秋、デンマークで……	……
事務局から 〈あごら京王〉例会へのおさそい、ほか……	福田 光子……6
お知らせ 女のつどい・女の講座……	……7
	……8

技術 家庭女子向き

むらいしともこ



も持っていないように見える。しかし、スカートやエプロンを作ることを喜ぶ生徒は、幼い頃から女らしさの教育の影響を受けて育っている。中学校で、その方向をさらに拡大してしまっているのではないだろうか。被服・調理・住居・保育からは、家庭生活中心の女性像しか生まれてこないし、木工・金工・機械・栽培を学ぶ男子は、家庭の日常生活の重要性に気づかないまま社会に出て行くのではない。実際に男子向きの内容には理科の物理系統に近い内容があり、興味の方向が性別によって決定されていく面も見られる。大学の学部で、工・農学部系統に女子の進学者が少ないのも、学校教育の影響が少なくないように思う。基本的な理科の知識だけでは、技術の応用に興味が持てないのも無理はない。新しい教育課程では男女の相互乗り入れが導入されるので、今年から女子も技術的分野が増えることになった。教科書も男女一緒にその中から選択できるようになっている。しかし、選択される内容は依然として男子向きと違う。家庭生活の重要性を教えると同時に情況に流されていかないう自主性のある女生徒を育ててゆくの、今、自分の課題であると思う。

いま女たちは
自らの発語をもち
自らの感性をもつて
書き始めた 駒尺喜美

80年代の女におくる
女の文芸誌

ちんぷみ 創刊!

創刊のことは
《小説》
女、混乱の要素
柿の実
白いバラソル
呼びあつた心求めて
天獄町小娘紅いうそ鳥
流人の庭
マジック・ミラー

漆田 和代
舟本 恵美
山下 智恵子
吉野 令子
六坂 安美
林 郁
伊藤 聖子
溝口 明代

《詩》
エメラルド色の空の深みで
男へのバラード
男たちの夢の中で
コレクション
「真夏の夜の舞台裏」より
彼方へ
もうひとつのわたしが
《コラム》
石子れい子／岩月澄江／漆田和代／
落合トア子／斎藤千代／佐伯洋子／
三木草子

翔 魔子
ソングーズ
てらだまりこ
瑛 まさみ
水田 宗子
亜紀 玲穂
真北 恵子

書店にお申し込みください ¥980
〒160 東京都新宿区新宿1の9の6
BOC出版部

女たちの映画祭 女なら やってみな!

〈あごら九州〉

自主上映を終えて

昨年十一月の「あごらミニ」で報告しておりましたように、福岡の女のグループ（あごら九州）「あんふあんて」へ女性問題研究会が集まり、十二月一日に「女ならやってみな」の上映を行いました。スタッフは二十人、準備期間三ヶ月足らずでしたので会合では討論が深夜に及ぶこともしばしば、チケットを売るために歩きまわる日々でしたが、当日入場者数五一〇名、託児数九〇名、なんとか赤字をださずに済みました。あれから六ヶ月、映画会に参加しての感想をまとめてみました。

初めて運動を共にするという緊張感の中で、自分なりにおもいはあったが、女同志の居心地の良さにすっかり嬉しくなり、成りゆきに任せた部分も多かった。特に映画自体を検討の上、アピールを考えていく作業に時間をかけられなかったのが残念。女性差別を意識し変革を求める女たちと映画会を通して出会えたことで、当時精神的閉塞状態にあった自分が、のびのびと生きてきたように思う。

後小路 当初「あごら九州」としてグループ参加するについての討論が十分でなかった。実行委員会の集まりでは、話題が散漫になり話合いが進まず、結論がでるのに時間がかかるのでとどまった。女の集まりの場合、全員が、心情的に納得するまで討論に時間をかけるので、少数意見が切捨てられない良さはあると思うが、もっと人数が増えた場合には、時間もかからず意見も十分に言えるやり方を考えなければならぬと思う。

小島サ 「あごら九州」では当時「学習と運動を結びつける行動をおこしていこう。他のグループとの連携をしよう」という機運が盛り上がっていた。グループは初対面にもかかわらず女たちがお互いに言いたいことをハッキリ主張してきわやかだったし、ステキな人たちと出会えた。女自身が自分の置かれた立場をみつめ、己れを動かすことによって社会を変えていこうと、エレンの生きざまを己れの鏡のようにみて、これでよいのかと映画による問いかけは、笑いながらも多くの共感の上にたったものだった。だからこそ映画会にあれだけの情熱を傾け成功

を収めたのだと思う。託児についても、預かる技術だけでなく「女と子どもの関わり」をテーマにボランティアの学生も交えて討論し準備した。託児数が予想の倍以上に達したときには、子持ちの女の現状を痛感。隣の女にも呼びかけ手をつなぎ「これからですたい」

小島豊 子持ちの女たちのエネルギーは自分の延長線上にいるエレンの焦燥感への思いからきたのではない。多数の入場者はマスコミの力にもよるものだと思う。ピラ作成の過程で、福岡としては逆転シーンを大きく採り上げずに五十歳のエレンの気持を表現したいということで、「私は夫を通してしか社会を知らなかった」という場面の写真を載せた。ピラの文章を考えるため、メンバー間で掘りさげて討論できたことが映画会存続を望む声につながってきたと思うが、全体としては担当グループ別に話がすすんだように感じられる。映画会のおとで、「託児室があったから映画がみれた。託児室つきは当然だ」という声をきいたときは、やってよかったと思った。

福田 準備期間に海外に出かけていたの、ほとんど協力することができずに、前日のリハーサルによく間にあった。スタッフの子連れの人たちのエネルギーには敬服した。そして当日のおやじさんたちの全面協力ぶりに目をみはったものだ。ある目的、ある行動に視点を合わせれば協力の方向が見出されるのだという「経験」を持つことができた。小さなグループの小さな行動が合体できる可能性がみえたことを評価していると思う。

映画を見たあとで

〔あらすじ〕 主人公エレンは五十代の平凡な主婦。子どもも独立して夫との平穏な暮らしの中で何か充たされたい。医者には「更年期障害」と片づけられ、夫の自由を羨むうちに「もしも男と女が逆だったら」と夢想する。空想の世界では、女が男に家事をさせ、仕事に、遊びに主導権を握っている。女と男が入れ替わったさまざまなシーンをみているうちに女の不当な立場が、はっきりと見えてくる。エレンは「役割交換では、女も男も生き生きしていない」ことに気づく。そして、職業安定所の戸をたたき、職業訓練所に通い、やつのことで就職するが、ストに参加してすぐクビになる。しかし、エレンは微笑む。「これが第一歩よ」

女と男が

いれかわった!?

A この映画の中で、逆転シーンというのは、非常に重い意味を占めますよね。
B そうですね。しかし、昔から男と女のアッションは区別されているのに、この映画の逆転シーンの中では、アッションは取り違えてませんでしたね。
C 私は服装を変えなかったからこそ、あの逆転シーンが生きてきたんじゃないかと思うの。
D そうね、映画を作る上で一度はそのことを考えたと思うの。でも、そうした

ら喜劇になってしまわね。

A 性の区別というのは実在しているのに、その性を強調するためのファッションまで否定してしまつたら、男性、女性の区別を認めないということになるのでは？

B しかし、女性が真剣に職場進出を考える時、どうしても現状での男女のファッションを検討する必要があると思う。

A でも、完全な平等を目指したら性の区別の否定にならないかしら。

B いや、性別の否定ではなくて、ほんとうの意味での男とか女とかが、検討されなくちゃいけないんじゃないかな。

E 私も、そう思います。

女のファッション

無差別攻撃

B 私としては、こでせひ、ファッションというものの中身について検討したいんですよ。例えば、スカートをはいっている時に風が吹いてきて下着が見えたりした場合、見えないようにおさえるのは少々疑問だな。男たちは、それだけで刺激されるんですよ。

F それを楽しんでるんでしようもん。

B しかし、一方では無差別に刺激するということ状況があるのに、他方では、モラルとして性関係は結婚しない限り持つことが出来ないのは非常な矛盾だと思う。

C それは、ちょっと飛躍し過ぎていないじゃない。

A 女の側の責任じゃなくて、むしろ世の中の主体は男性なんだし、ファッショ

ン産業の経営者だつて、男が多いし…… B だからこそ、男を刺激する意味で着るといふのは筋が通らないと思う。真の意味での刺激というものを、探求する必要があるんですよ。

A それは女性の側に望むことなんですよ。

B そうですよ。男が作ったものだしともね。

C いや、女のデザイナーもいるわ。

F 男性を刺激するためにだけ、おしやるわけじゃない。

A でも、意識的に自己主張のためなら刺激的なファッションでもいいんじゃないですか。

C こちらが、いくら意識していようとしまいと無差別に刺激を受ける人がいたらどうなるの(笑)

B それが問題なんですよ。

G 私は刺激を受ける、受けないは別として自分の好きなかっこうをすればいいと思う。ただ、スカートををはかない女にどうしてはかかないのかと干渉めくような状況をなくしたいだけで……そういうことを言わないような社会であれば、別にどんなにかっこうとかまわらないと思う。

B 基本的には、どんなにかっこうしようとかまわらないわけだけど、こで問題にしたいのは、その服装が持っている意味が何かということ。つまり刺激を与えるという意味ですよ。

C 何も刺激を与えようと思つて着ているわけじゃない……。

H 私もそう思いますね。女が全員刺激を与えようと思つていないわけじゃない。刺激を受ける方がわるいんじゃないですか。

G でも、与えようと思つてなくても与えられるって言ってるんだから。

H 女のほうには責任ないですよ。

B 刺激を受けるほうが悪いと言われても実際問題として、刺激を受けるんですよ。

C でも、刺激を与えようと思つてなくても、相手が受けるつてのにまで責任もてないもんね。

B そういう言い方をされると、性差別からの解放運動を女と男が連帯しにくくなるんじゃないか。

C じゃあ、どうしたら連帯できるわけ？ B まず第一段階としては、刺激を受ける男たちが、たくさんいることを認識してほしいということなんです。

G やはり、男性がそう言っているんだから認めざるを得ないんじゃないですか。

B だからこそ、ちっちゃい時から女も男もそんなふうで育てられているわけ……。それを刺激を受けるアンタが悪いんよ、と言われても、オレだって受けたくないけど、しょうないよ、こうなるわけよ。(爆笑)

F じゃあ逆に考えて、刺激を受けなければいいんですか。

B 私は、不必要な刺激を受けたくないわけ。お互いに必要だと感じる時に刺激し合いたいんですよ。

F 必要な時だけ刺激し合えばいいなんて。(笑)

H 外観的に刺激するものがなかったら興奮しないわけ？

B いや、そうじゃなくて、外面的なもの、内面的なものも含めて、興奮したいけど、現状では、そうじゃないことが多いんですよ。

C でも、どうして？ 本当にそんなに単純に刺激を受けるの？

B 受けますね。

H わかりませんね。

E 刺激云々は別として、小さいころから、スカートばかりはかせられたら、やっぱりスカートじゃあないといやだ、となつてしまふんじゃないのかなあ……。

B なぜ、刺激云々にこだわるかと言うと、今話し合つてみても、なかなか話がまとまらない。ここまで習慣になつてしまつていると思うわけですよ。

A 習慣になつてしまつているのね。

つくられた「らしさ」を考える

B 私は、前に言つたファッションの習慣化と同じレベルで、男と女の役割分担というものが習慣になつてしまつていると思う。つまり、肯定する否定するは別に、ファッションについて考えざるを得ない状況と思う。

A むしろ、本質的な意味での男女の役割分担が解決されれば、ファッションだつて、おのずから解決されてゆく問題のひとつではないの？

C 私も、そう思うわ。

A 男も女も、ともに外に出て行くことによつて、そして、ともに働くことによ

って、今の労働時間を半分にし、余力を男も女も子どもの教育や育児に当てて人間として生きてゆくのが解決の方向じゃあないかと思う。それが本質的なところだ。男女の役割分担を解決してゆく。

D 経済体制の違いによっては、女も男も働いているのが当たり前があるわけだけども、そういう国は、どうして、そうやってきたのかしら？

C 経済の体制が変わっただけでは、男女の役割分担は変わらないからこそ、今度の世界会議が開かれるわけでしょ。いわゆる家庭での役割を検討しようといったところに、そういう国々はきてるんじゃないかと思うの。

B 前の話で、性の区別について疑問な点も残ったわけだけど、それは、今現在の男女のファッションを厳しく追求した場合、次の方向がハッキリしていないために性の区別を否定しているのかのように感じるのではないかと思う。

A 私は、どうしても男女の区別というのを否定し去ったところから出発しないと、というふうな受けとれるんですよ。

D 性の違い……それが私は、よくわからないの。

B 真の意味の性の違いが実在すると思うけれど、この点については、今まで十分な（少しも）検討がなされないままだと思ってるんですよ。

D 真とニセっていうのを、はつきり意識してくれていいでしょう。それから本当の性別の違いを検討しようってことで、ファッションはその入り口なんですよ。

A 要するに、真の女とか、ニセの女とか、真の男とか、ニセの男とか、そこまでする必要はないと駄目だということでしょう。言ってみれば、男女の区別は肯定しているんでね。女、特に女の場合、女であるということ、女らしさというものが混同されてしまっていて、いわゆる真の女ではなくて、女らしさというニセモノを認めてしまっていて、そして、それが、あたかも女であるかのごとく、そこにはき違ひがあるんじゃないかと言うことでしょう。

B そうです。男の場合と同じ。

A 作られた女、作られた男というものにふりまわされて、真の女や男はどうあるべきか、を問い直す作業をする前にお互いに女らしさ、男らしさというものに眩惑されて生きている。これが、おかしいと言うわけですね。

B そうです。

D でも、性別の違いを肯定すると、現状を肯定してしまいそうで、不安ですね。

やっぱし女も男も 働かんといかんちゃね！

B 最後のシーン（「これからよ」）は新しい方向を、なぜ、はつきり示さなかったんだろうか。

F そうね。あんまりかくあるべきものとかが出たら、かえってしらけて……。

D でも、それが出てなかったから、つまんなかったっていう人もいたのよ。

C だから、働いていなかったエレンが働き出したことによって、方向性は出ているわけですよ。

D ウーン。

A しかし、働くといっても、今の社会での労働環境には疑問があるわ。労働の搾取や男女差別だらけ……その中に自分が出ていくことに疑問だから、ひらき直って家庭にいる主婦だっていうわけ。だから、今は無理でも、女も男も働いてしかも、そこには搾取も差別もない。そういう方向が模索されていくことが必要と思うわ。

D でも、搾取や差別がない働き場所はないんじゃない？

B 働く、働かないという論議については、少なくとも、結婚を前提とした時には、可能なことであって、仮に、結婚をしたら家庭に入るということを認めたとしても、そこには矛盾がある。つまり、結婚は、愛し合っているもの同士が結ばれることが一般的ですが、しかし、その時期については、決まっているわけでもないし個人個人で違うんで、ということになると、その時期までは、最低限働くことは必要不可欠だと思う。少なくとも女が自立しようとするなら、働くことは、当然なこと、議論の余地がないわけですよ。

A 自立の最低の条件として働くことは当然だと思います。

E だから、私も働いているし、これからも働き続けるつもり。

D 搾取があろうと差別があろうと、まず働くことが必要だと思うわ。搾取や差別があるからと言って、冷めて働かないというのは、おかしい、ということになるのよ。

B 理論的には女も男も働くことが必要

だとなるわけだけど、現実には、結婚している年配の女性の場合、職場だって限定されるし、即誰かが働きに出るというわけにはいかないと思う。だから、第一の前提としてまず、働くということ（働ける人はみんな働く）次の段階として、働けない人とともにどういう方向で進めばいいかを考えることをすれば、対立することもなく解決の道を切りひらくことが出来ると思うんですよ。

D 働くことの中で、搾取や差別の現状を変えていかなきゃいけないということでしょう。差別や搾取があるから働かないというんじゃないか。

A 「これからよ」という言葉の中には、そういうイメージも含めてとらえてゆけば、この映画は、もつと先の展望につながっていく、そんな気がしますね。

出席者

A	50代	主婦	社員	社員	社員	主婦
B	30代(男)	主	会	社	社	社員
C	20代	会	会	社	社	社員
D	30代	会	会	社	社	社員
E	20代	会	会	社	社	社員
F	50代	会	会	社	社	社員
G	20代	会	会	社	社	社員
H	70代	会	会	社	社	社員



そこで会館としてこの問題をどう考えているのか職員に話を聞いた。――①現在幼児室利用は週1、2回で利用者が少ない。(これは専任保育者がいれば増えるはずである)②予算面から人員を増やすことは非常にむずかしい。③そこでボランティアをお願いして、その養成や登録、手配等をするシステムを作っていきたいと考えている――とのことだった。ところがこの担当者が最近転任し新任の人がまだ慣れないので、これから私たちもいっしょに考えていく段階だ。

所在地		札幌市	帯広市	立川市	東村山市	小平市	名古屋市中区	名古屋市東区	神戸市中央区	神戸市東灘区	尼崎市	京都府京都市	福岡市東区
1.	施設の名称	北海道婦人文化会館	帯広婦人センター	砂川・西砂川・高松・中央公民館	東村山市役所・東村山市民センター	小平市中央公民館	名古屋市中区婦人会館	名古屋市東区婦人センター	市立動物園婦人の家	婦人会館	市立動物婦人センター	京都府婦人センター	市立婦人会館
2.	施設の管理運営主体 及配置人員	財団法人 北海道婦人協会 9名		4館合計 24名			名古屋市中区民局	神戸市市民局 3名+嘱託2名	神戸市婦人団体協議会	尼崎市 7名+嘱託5名	社団法人	福岡市教育委員会	
3.	構造	コンクリート 3F		コンクリート 3F、B1F	6F建のうち5F6F	プレハブ 2F	コンクリート 3F、B1F	コンクリート 3F、B1F	コンクリート 7F建の1F	コンクリート 5F建の4F・5F	コンクリート 3F	本館3F、別館3F	コンクリート 4F、B1F
	建築面積	1,442.15㎡		2,388.25㎡			1,043.39㎡	1,057.06㎡	660㎡	1,700㎡	2,113.097㎡		1,814㎡
	設備	会議室 宿泊室		会議室			会議室	会議室					
4.	利用対象	北海道在住婦人及婦人団体			市の企画した講座参加者	市民		勤労婦人及主婦	勤労婦人及主婦	婦人	婦人	宿泊は婦人のみ	婦人
	利用時間	AM9:00～PM 21:00		AM9:00～PM 21:30		AM9:00～PM 10:00	AM9:30～PM 9:00	AM9:30～PM 8:30	AM9:30～PM 9:00	AM9:00～PM 9:00	AM9:00～PM 9:00		AM9:00～PM 9:00
	休館日(年末年始以外)	日・祝	日・祝	なし	なし	日	日・祝	月・祝 第3水	月・日・祝	なし	水・祝	なし	月
	利用料金	有料	無料	有料	無料	有料 (社会教育団体は無料)	有料	無料	無料	有料	無料	有料	無料
	その他										センター主催行事にのみ使用		
5.	面積・設備	1F 33㎡ 遊具・オルガン・ベッド	82.8㎡ 遊具、オルガン	40㎡ 遊具、ベッド	別棟 25㎡		87㎡		18.66㎡ 遊具、ベッド、楽器		97.8㎡ 遊具		
	収容人員	15～20名	20～30名	20名	20名	18名	20名	7名	5名～6名		30名		20名
	専任託児者人数	なし	指導員1名	(子供4名につき1名) 9名で交替	4～5名	臨時職員 15名	(子供3名につき1名、ボランティア) 1名+29名	(子供7名につき1名) 3名	アルバイト 1名		嘱託 3名 (1週間に33時間)		なし
6.	その他		保険あり	おやつ代 50円			2歳～6歳の子供	2歳以上のみ	幼児に限る		学童もOK		
	託児室のない場合は利用時に子供をどこに預けているか			学習室内に入れたり、近所にあずけたり	つれあい、知人に頼む	保育室の中で子供を回りに遊ばせながら学習	2歳以下の子供は児童学習室で自主託児		託児室がないので子供と共に入館して適当に遊ぶ				つれあい、知人にたのむ室内で一緒に遊ばせる
7.	その他託児に関して何でも			保母ボランティア講座終了者を採用している								毎月の例会は「シャンバラ」(託児室なし)	

去年の秋、デンマークで

福田 光子

デンマークに、いま女たちの眼が注がれる。日本で初の女性大使誕生、そして七月には国際婦人年の中間年を期して国際的な報告会がくりひろげられる。去年の十一月、研修視察でデンマークを訪れた私は、その国際会議場となるベラ・セクターにも立寄った。コペンハーゲンの空港に近い広大な国際会議場は、折からのヨット・ショウで大変な賑わいを見せていた。冬が長く太陽の恵みを大切にすることの国の人々は北の海辺の短い夏を、ヨットで楽しむのであろう。

十一月の、ノースジランドの海辺のヨットハーバーには、おびただしいヨットの群がたがれて、シーズンオフの静寂がただよっていた。

短い夏のヨットハーバーの活気、そして、国際婦人年の会議という二つの組合わせが、たいへん自然に入入れられている国のような気がする。レジャーと言えば、この国には、すでに一九二四年「余暇法」という法律が制定されていると聞かされた。

戦後もかなりの年月を経てようやく「余暇」という言葉が定着したわが国からみれば五十年以上前に、法律で規定されていることは、ただ驚きである。

「余暇法」とは国民の余暇の活用のために地方自治体や労働組合が施設を提供し、国も一部を補助しなければならないのだと説明を受けたのは、ロスキルデ市（コペンハーゲンから車で約一時間）のイブ

ニング・スクール（成人学校）を訪ねた時であった。夕方の七時から開かれるロスキルデ市のイブニング・スクールのほほえましい風景を思い出す。

講座数九三コースもあるという、そのひとつのクッキング教室は圧倒的に男性が多い。ビールを飲みながら講義を聞き、さて実習にとりかかる。子どもも、教室の中をちよちよちよちと一層に金髪の愛くるしい女の子で両親と一緒に参加しているのだらう。チョンガー風の若い男性も混るが、ホワイトカラーよりは、労働者家族といった感じ。その夜は、魚料理とあって包丁さばきも鮮かで時々私たち女性の訪問者に、ビールをすすめ愛想がたい。映画「女なら、やってみな」の逆転シーンを地味く風景とみた。

「男は仕事、女は家庭」の役割分担について、女の価値を、男の価値の落差と見るかどうか訊ねたい衝動もあったが、その極めて当り前の表情に、私自身おくれしてしまった。

この国を訪れるに先立っての事前研修の折に、早稲田大学の若い北欧研究者から、たいへん印象深いレクチュアを受けた。長いデンマーク留学の体験から「もしも人類に家族というものの崩壊がやってくるとしたら、それはデンマークのような国に最初にあらわれるのではないか」とあくまで仮説として述べられた。一八六四年、プロシヤ、オーストリアとの戦いに敗れたデンマークは国土を多く失っ

た。それ以前からの慶重なる敗戦と屈辱が、「外にて失いしものを内にて取り戻さん」という国民的スローガンのもとにデンマーク農業となつて、ヒースの原野を沃野に変え、国民高等学校をもつて成人教育を定着させ、デンマーク体操を広め、今日の高福祉国家の基礎を打ち込む結果となるのだが、戦争にこりこりした国民は、強いものの、攻撃的なこと、男らしさを求めるよりは、「内なるデンマーク」の建設に舵を向けた。

その結果として、男らしさ、父親の權威といったものが次第に薄れて、「家族」という小社会も、ひとつの変容をとげつつある。

先の仮説の論拠は、そのあたりにあるのだらう。そして、未婚の母やフリーセックスの問題も、このあたりに深くかわるのだらう。

デンマークは、ヨーロッパにおける数少ない王制を持つ国でありながら、ゆるい社会民主政策をとる独自の道をすすめる国である。

古都ロスキルデ市の市長も女性であった。国会議員一九七名のうち四二名が女性でもある。20%の女性議員の比率は、先進国フランスの9%に比較してもはるかに女性の政治参加の率が高い国である。その国で、「女なら、やってみな」というような映画が作られている社会的背景を思いみる時、女たちの歩みは、さらにこれから遠い思いをもつ。

〈あごら〉を考える

アンケートにご回答ください

八〇年代を迎え、女性解放運動もいろいろな意味で見直しが要求されています。私たち〈あごら〉の運動も、その中で一つの曲がり角に立っていると思われまふ。提点の数がふえ、提点活動への参加者がふえるにつれ、従来の読者集団的なあり方からの脱皮を望む声が強くなってきました。しかし一方には、「ベッドの中でもできる運動」という、〈あごら〉独特の展開に期待する声もあります。また、会則を設けず、長を置かないのも不文律になっていました。が、明確な組織化が必要という意見も出てきました。

これらの意見に一つの方向性を見出そうと、昨年十二月以来、「運営会議準備会」で毎月一回検討を重ねてきましたが、次のように来たる九月、「あごら」を考える会を開いて今後の方針を決定することにいたしました。当日ご出席になれない方々のご希望・ご意見も、ひろく吸収していきたいと思ひますので、アンケートを同封いたします。会員の方はぜひご回答ください。

なお、「あごら」を考える会」は、九月十四（土）十五（日）、一泊二日で行ないます。場所は東京ですが、会場は未定です。当日のテーマは、「あごら」の方針決定」にしまふので、この問題に関心のある方のみご参加ください。

「あこら京王」例会報告と おさそい

「老後の問題をめぐって」というテーマを掲げて、すでに二年有余を経過しました。今までは、医療問題、保険問題、制度の問題等の実際的な体験談を中心とする、現実的にすぐに役立つような問題をとりえて、学習しながら、時々講師を招いての講演会を開いたり、老人ホーム訪問、病院の見学をしたりしましたが、この四月から三年目になりますし、これからへんで、一歩前進して、より長期的な展望のもとに、より基礎的な学習をしてはという多くの声が出されましたので、話し合いの結果、『老年保障論』黒住章・他編、有閑閣双書をテキストに使うことにしました。

簡単に内容を紹介しますと、第一部・老後生活と老齢保障の理論、ここでは、資本主義と老齢者問題、労働者の老後、ライフサイクルにおける老後問題、老後の所得保障、老齢保障、老人の医療保障、老齢保障と財政問題、高齢化社会と福祉、財政、第二部・年金制度の理論の中では年金とは、年金制度とは、年金制度の基本構造と、その歴史、年金制度の種類、機能、年金制度と生活構造、第三部・各国の年金制度、として、年金制度の国際基準と比較（イギリス・フランス・アメリカ・西独・スウェーデン・日本）、老齢保障の将来、老齢化社会への道、等と豊富な内容が組み込まれています。

例会は毎月一回世話人宅で開かれますが、会合の前半一時間半は、テキストを

使用し輪読形式で行ない、後半は討論、近況報告、連絡等をしております。六月は第一章の五頁十二行まで済みしたので、次回七月二十三日水曜日は、労働者の老後五頁から十頁まで行なう予定ですので、希望の方は、グループに関係なく、どんなでも自由に御参加下さい。なお老後に向かって共同の住まい、共同経営の相談や、学習会の成果を本に著そうという話も出ております。関心のある方はふるって御参加下さい。

（次回は七月二十三日水曜 6・30～9・30 於福井宅 Tel〇三―三〇八―七八七―一京王線仙川5分）
（福井浅子）

性差別撤廃条約の批准を！

国連婦人の十年中間年「世界婦人会議」は七月十四日～三十日デンマークで。そのハイライトとして、十七日夕七時から「女性に対するあらゆる形態の差別撤廃に関する国際条約」の署名式が行なわれます。この条約に署名すると、国内法の整備―労基法第三条に「性別」を加えることや、国籍法の父系主義の是正、家庭科の男女共修などが義務づけられるため、日本政府は署名を渋っていました。各婦人団体、婦人議員、婦人問題企画推進会議など、総力をあげての抗議に、署名の方針を固めました。このため、七月四、五、六の三日間予定されていたリブ系グループによるハンストは中止しましたが、署名はしてもはたして批准するか保守派が圧倒的多数を占めた国会での先行きがやぶまれています。たたかいは

長期戦化することも考えられ、あらゆる戦術・戦略を練る必要があります。都内では各グループ共催で左記のとおり学習会を開きます。ふるってご参加ください。

●七月十八日（金）6時30分～9時

●於厚生年金会館会議室

●講師 中島通子・淡谷まり子（予定）

なお、性差別撤廃条約の原文は「あこら」22号に掲載されています。この翻訳文は「あこら」独自のものです（政府側翻訳文は、原文の意味をばかしている場所がありますので、ご注意ください）

私たちが見たデンマーク会議

8月初旬に発表会

デンマークのフォーラム（民間会議）に「あこら」の会員は20名参加、うち6名は全期間会議に参加します。寝袋持参でスリーピング・インに泊ったり、民宿したり、大学の寄宿舎で過ごすなどしながら、草の根グループと交流するのが主目的。一部の人は北欧の女性解放の状況もたずねます。それぞれ苦しい中から旅費を自弁しての旅。おみやげ話を待ちかねている人も多いため、なるべく早い機会に発表会を持つことにしました。

東京地区は

●八月九日（土）2時～5時

●於東京都婦人情報センター会議室

（日比谷図書館4F）

●TEL〇三―五〇―一七八五―二
東海地区は「あこら東海」にお問い合わせください。

私たちをとりまく公害

一婦人民主クラブ活動年表一

編集 婦人民主クラブ公害部
婦人民主クラブは1946年廃墟の中に生れ同時に婦人民主新聞を33年間継続して刊行しています。その中から私たちの反公害運動や記事を年表としてまとめました。

300円 140円

女の老い

編集 婦人民主クラブ

高齢化社会がやってくる。私たちがこの問題をどう受けとめるか。年金を現行の積立方式から賦課方式に切りかえさせよう。五万円を獲得しよう。男社会の中で女としての生きがいを探ることから出発した第一集です。

150円 140円

天皇制・女

一天皇「罪位」50年を問う一

編集 婦人民主クラブ

天皇訪米の意味するもの……針生 一郎
教育と天皇制……村田 栄一
わたしの内なる天皇制……もろさわようこ
天皇制差別の底辺から……宮沢志津子
あなたの中に天皇はいないか……朴 邦 南

350円 120円

婦人民主クラブ

東京都渋谷区神宮前3-31-18 ☎(402) 3244
振替東京8-196455

〈女のつどい・女の講座〉

日	時	テ	マ	会	場
7月16日(休)	18:30~	買春観光と日本の家庭 講師 大島静子 〈アジアの女たちの会〉 (参加費 500 円、連絡先 03-508-7070 五島)		渋谷勤労福祉会館	03-462-2511
17日(休)	18:30~	働く女性の相談室 〈行動する会・労働分科会〉(毎水曜日、予約は毎日)		ジョギ	03-232-1187
	18:00~21:00	労働法改悪阻止・保護ぬき平等法反対連絡会 討論 家庭基盤の充実構想 をどうとらえるか、連絡会の今後のもち方 (連絡先 03-402-3244 婦 人民主クラブ)		婦人民主クラブ 3 F ホール	
18日(金)	18:30~21:00	性差別撤廃条約についての講演会 講師 中島通子、渋谷まり子 (予定) (参加費 500 円、連絡先ジョギ)		厚生年金会館会議室	
19日(土)	19:00~	あごら武蔵野・例会		かわら版事務所	0423-94-2902
	19:00~	小西あやのでんぐりがえ史		すぱーす JORA	03-203-6022
	13:00~17:00	合成洗剤追放/びわ湖シンポジウム 参加費500円 (連絡先0775-22-4644) 〈主催=同実行委員会、協賛=日本消費者連盟、婦人民主クラブほか〉		大津市民会館・大ホール	0775-25-1234
23日(休)	18:30~21:30	あごら京王・例会		福井宅	03-308-7871
24日(休)	18:00~21:00	結婚の意味を問う継続討論		豊島振興会館 (池袋駅東口下車)	03-308-7871
25日(金)	19:30~	私とあごら 〈あごら北東京・例会〉		婦人協同法律事務所	03-985-3308
26日(土)	18:30~21:00	あごら九州・例会		福岡市婦人会館	092-712-2662
28日(月)	18:30~	鉄連の7人とともに性による仕事差別、賃金差別と闘う会 運営委員会		ジョギ	
8月2日(土)	10:00~16:00	第26回日本母親大会 分科会 (場所、テーマ等は日本母親大会連絡会 03-230-1836~7へ)		大田体育館 (京浜急行線梅屋敷3 分、京浜蒲田7分)	
3日(日)	10:00~15:00	同 全体会 記念講演「平和を求める日本の母親」 講師 畑田重夫 構成劇「生命を生み出す母親は子どもを守り平和を守る」 決議、宣言		軽井沢	
8日(金)		あごら武蔵野・合宿 「性の深層、あごら22号を読んで」 8月10日まで (連絡先 丹羽雅代 0423-43-6749)			
9日(土)	14:00~17:00	私たちが見たデンマーク民間会議		婦人情報センター (日比谷図書館4 F) 03-501-7852	
10日(日)	14:00~18:00	あごら九州・例会		福岡市婦人会館	

各地のあごら連絡先

あごら旭川 旭川市神楽岡一条五丁目3 田代慶子 011666656237 07811	あごら札幌 札幌市中央区南25西12ニユー藻岩503 高橋芳恵 0115636917 064	あごら浦和 埼玉県浦和市南浦和2-19-8 国井マツ江 0488873680 336	あごら北東京 豊島区東池袋1-45-11イン金子202 婦人協同法律事務所 内村由美子 038533008 1170	あごら武蔵野 小平市小川町1の763の86 丹羽雅代 042344366749 187	あごら京王 調布市仙川町3-12-32 福井浅子 0333087871 182	あごら神奈川 川崎市多摩区生田4634 沼田千恵子 0449339079 214	あごら東海 愛知県愛知郡東郷町和合ヶ丘1-12-9 伊藤汎美 05613992386 47001	あごら京都 京都市左京区北白川久保田町36-4 塚崎美和子 0757914623 606	あごら大阪 吹田市出口町30-20-703 北垣由民子 063870916 564	あごら九州 福岡市西区笹丘2-4-6 小島豊子 0925217624 810
--	---	---	---	--	--	---	---	---	--	---

〔編集後記〕 今日投票日。この号が出る頃には八十年代の選択の結果がでている。女性有権者の数のほうが男性より多いという。ということは現在の体制を支持しているのは女ということになる。女自身がまず望まなければならない。自分たちにとって本当によい代表者を。女が変わらなければ、そう思いながら一票を投じた。(と)

(八月号は夏休みとします)